

コロナ禍を越え、ともに生きる —— 教育はいま・・・

7月26日(日)

10:00~12:30
エルおおさか709



京阪・地下鉄「天満橋駅」より西へ300m

コロナ危機の中での一斉休校、学校再開…大きな環境の変化、初めての経験を通して、子どもたちも保護者も教職員も、「学校は、教育は、どうあってほしいのか？」を考える機会になりました。

学校再開の当初の20人以下の学級で3時間だけの授業で、不登校だった子どもが登校したり、学習が苦手な子が分かったと喜んだり、また学校休校中の思い、訴えを議会陳情として表明した生徒もいます。一方で、子どもの声、教職員の声を聞かず、首長や教育行政が飛沫感染の危険も無視した「君が代」斉唱や、なぜ苦境に置かれているのか説明しないまま医療従事者への拍手を子どもに指示するということがありました。学習指導要領の学習内容や従来の入試制度を前提にして、休みを削るなど負担を押し付けることが、子どもをさらに追いつめています。

私たちは、「子どもの権利が尊重される学校、多様な子どもたちがともに育つ教育」を求め、「教育を市民の手に取りもどそう」と訴えてきました。コロナの前に戻すのではなく、今こそ教育・学校を変えるときと訴えたいと思います。このコロナ危機の中での経験を交流し、ともに生きていくための教育のあり方とは？そのために必要なことは？ともに考えあいましょう。ICT・オンライン授業や学力保障などについても意見を交流しあいしたいと思います。ご参加ください。

＜お問い合わせ先＞ 松田 090-1138-5776 matsuda.f.1208@gmail.com

【参加費】2日券…一般2,000円、その他1,200円 1日券…一般1,200円 その他700円

(当日券は+200円) ※ZOOMでの参加ご希望の方は、ZENKOホームページよりお申込みいただけます。

詳しくはZENKOホームページでご確認下さい。http://www.zenko-peace.com/